

波郷記念館だより

第二十九号

発行日

平成27年9月20日

発行元

江東区砂町文化センター

〒136-0073

東京都江東区北砂5-1-7

電話：03(3640)1751

★大賞三作品のご紹介★

読売新聞社賞

風景賞

こども江東歳時記 二〇一五・夏授賞式

八月三十日(日)に、「こども江東歳時記二〇

一五・夏」の授賞式が行われました。

石田波郷記念館「江東歳時記」賞、読売新聞社(後援)賞、そして風景賞の三つの大賞のほか、選者の高田正子氏(「藍生」会員)、大谷弘至氏(「古志」主宰)、大西みつぐ氏(写真家)による特選、入選に選ばれた二十二名の児童が会場に集まりました。

▲受賞された皆さん、おめでとうございます



「こども江東歳時記」とは

江東区の風景を写真や絵に残し、俳句を詠むことも対象の俳句イベントです。5月～7月に募集を行い、記念すべき第一回目となる今回は557句の応募がありました。

選者は俳句と風景それぞれの選者によって行われました。

石田波郷記念館

「江東歳時記」賞

空の雲片白草と同じ白

越中島小学校 四年 大谷 航平

【講評】

片白草は花が咲くとともに、葉の片面が白くなる不思議な植物。その白さが大空をゆく雲と同じだという詩的な発見がある。

(「古志」主宰 大谷弘至)



ひまわりが一二三と

かがやくよ

越中島小学校 四年 小川 愛加

【講評】

毎日水やりをして大切に育ててきたひまわりなのでしょ。一つ二つ三つ……、これからまだまだ咲くのです。きららした真夏の始まり。ひまわりと一緒に太陽を仰いでいるような句です。

(「藍生」会員 高田正子)



夏の夕

しあわせくれる商店街

第三砂町小学校 二年 古藤 睦己

【講評】

実際の砂町銀座商店街入口の風景。作者は空を見上げしばらく呆然としつつ、夕食の温かな家族の風景を連想したのではないでしょうか。オレンジ色が印象的。奥行感のある構図もい的です。

(写真家 大西みつぐ)



■日程・カリキュラム■

1	10月31日(土)	俳句実作基本の「き」～俳句の約束～
2	11月7日(土)	奥深い日本の四季を織り込む～季語～
3	11月28日(土)	切れとリズム
4	12月12日(土)	句会に挑戦①
5	1月23日(土)	様々な表現技法
6	1月30日(土)	句会に挑戦②
7	2月6日(土)	句会に挑戦③

- ★この講座は宿題と、講師による添削があります。また、カリキュラムは予定のため、変更になる可能性があります。
- ★申込は9月24日(木)までとなっておりますが、申込状況により25日以降も受付ます。詳しくはお問合せください。
- ★申込・お問合せ先
砂町文化センター Tel:03-3640-1751 Fax:03-5606-5930

砂町文化センター人気の俳句実作講座、今年の秋は俳句人口の増加に向けて、初心者の方を対象とした入門クラスを実施します。

全く初めての方でも安心して受講できるよう、俳句の基礎から始め、最後は句会を目指します。(初心者の方以外もお申し込みいただけます。詳しくはお問合せください)

受講生
募集

今日からはじめる
俳句入門講座

講師 ■ 鈴木しげを
(俳句結社「鶴」主宰)



☆講座基本情報☆

- 【日 程】平成27年10月31日(土)～平成28年2月6日(土)
- 【回 数】全7回
- 【時 間】13:30～15:30
- 【場 所】砂町文化センター 第1会議室
- 【定 員】25名
- 【受講料】7,500円(全7回分)
- 【教材費】400円(全7回分)

■募集要項■

投句	2句一組(波郷を偲ぶ俳句一句・雑詠一句)。未発表作品に限ります。何組でも可。
投句料	2句一組1,000円(大会句集代および送料) ※定額小為替か現金書留(切手不可)にてお支払いください。
選者	上田日差し、大串章、鈴木しげを、徳田千鶴子、渡辺恭子(五十音順)
賞	石田波郷記念「はこべら」賞1名、石田波郷記念館賞1名、各選者による特選3句、入選10句 ※類句・類想句・二重投稿(結社誌・大会句集などに掲載されたものを含む)については賞を取り消すことがあります。
発表	平成28年2月中旬までに入賞者に直接通知
授賞式	平成28年3月13日(日)14:00より 江東区砂町文化センターにて
投句方法	規定用紙または200字詰原稿用紙に楷書で、郵便番号、住所、氏名、俳号、電話番号、性別、年齢を明記(氏名、俳号にはフリガナ)し、〒136-0073北砂5-1-7砂町文化センター内俳句大会係に郵送または窓口で。
締め切り	平成27年12月10日(木)

今年も、石田波郷をしのぶ「はこべら」俳句大会を開催します。今年はどうな作品が大賞に選ばれるのでしょうか?皆様の投句をお待ちしております。

第十五回 石田波郷記念 はこべら俳句大会



石田波郷

作品
募集

砂町文化センターニュース

平成 27年 9月 20日発行
江東区砂町文化センター
江東区北砂 5-1-7
03(3640)1751
<http://www.kcf.or.jp/>

秋の講座受講生募集中

文学・歴史

没後50年、谷崎潤一郎を読む ～『細雪』を通して谷崎文学の世界にふれる～

今年には谷崎潤一郎没後50年にあたります。新たな全集の刊行も始まり、谷崎に関する様々な人々の発言を耳にすることも多くなっています。代表作『細雪』を通して、豊かな魅力を放ち続ける谷崎潤一郎の文学世界を節目の年に鑑賞します。



『細雪』谷崎潤一郎（中公文庫刊）

講師：大野 亮司（亜細亜大学国際関係学部准教授）

- ◆水曜日・全 5 回・13:00～14:30
11/18、12/16、1/20、2/10、2/17
- ◆受講料：6,000 円
- ◆教材費：200 円

鑑賞・教養

絵巻鑑賞講座 ～社寺の縁起と伝説編～

“社寺縁起”をテーマに、平安時代から室町時代までの「名宝」と呼ばれる絵巻を鑑賞します。ファンタジックでスリリングな神仏の物語を、美しい絵と共に読み解いていきましょう。



志貴山縁起（「信貴山縁起絵巻」江戸期の写本）
国立国会図書館蔵

講師：山本 聡美（共立女子大学文芸学部教授）

- ◆水曜日・全 5 回・19:00～20:30
10/28、11/11、11/25、12/9、12/16
- ◆受講料：6,000 円
- ◆教材費：200 円

こども・親子

親子で和風づくりに チャレンジ！

正月遊びで知られている凧。最近は、凧を揚げたことのない子どもが多いのではないのでしょうか。竹の骨組みに紙を張った伝統的な和凧を親子で協力して作ります。日本古来の遊びを親子一緒に楽しみましょう！



講師作品

講師：田淵 和夫（日本の凧の会会員）

- ◆土曜日・全 5 回・10:00～12:00
11/7、11/14、11/28、12/12、1/16
- ◆受講料：1,500 円
- ◆教材費：500 円
- ◆対象：親子（こども 小学生以上）

お申し込み期間

9/24 (木) まで ※はがき・FAX は 24 日 (木) 必着
※定員を超えた場合は抽選となります
※25 日 (金) 以降は先着順にて受け付けます。詳しくはお問い合わせください。

お申し込み方法

- ①窓口 ※第 1・3 月曜日は休館日です。（ただし祝日は開館）
- ②電話 **03-3640-1751** ③FAX **03-5606-5930**
- ④はがき 〒136-0073 東京都江東区北砂 5-1-7
- ⑤インターネット **http://www.kcf.or.jp**

※インターネットからの講座申し込みには「受講生登録」が必要となります

はがき・FAX 記入例

- ① 砂町文化センター・講座名
- ② 氏名・フリガナ
- ③ 生まれ年（西暦）・性別
- ④ 郵便番号・住所
- ⑤ 電話番号・FAX 番号



日本茶の魅力・再発見!～おいしくお茶を楽しむために～ (講座)

&

ティーワングランプリ～利き茶を楽しむ～ (サマーフェスティバル)

おいしいお茶をいただくなら...

砂町文化センターで初めての本格的な日本茶の講座を開催しました。

講師は地元砂町銀座商店街・お茶の秋山園の杉本守隆氏に依頼し、日本茶についての歴史文化をはじめ、おいしいお茶の淹れ方の実習、自分好みの味を見つける方法、そして日本茶を使ったオリジナルドリンク作りなど、日本茶の面白さや本当のおいしさなど新たな発見がありました。

また特別講義として、茶師として日本で初めて利き茶十段となった前田文男氏をお迎えし、日本茶作りの現場についてのお話をさせていただきました。ちなみに、利き茶師とは、日本茶の産地・品種・採れた時期などを見分けることができるそうです。十段は利き茶師最高段位であり、平成9年に当時の規定最高位九段を超える成績を収めた前田氏のために、新たに十段が設けられたのです!

「ティーワングランプリ～利き茶を楽しむ～」は、8/8(土)に砂町文化センターで開催されたサマーフェスティバルの1日体験教室として行われました。講座「日本茶の魅力」と同じく杉本守隆氏を講師に迎え、日本茶のお話のあと、飲んだお茶の種類を当てる「利き茶」を体験し、日本茶の奥深さを堪能しました。今回は初心者向けに、問題がやさしくなっていたようです。



利き茶の茶葉が並んでいます。



飲み比べたら、シートに記入をしていきます。参加者のみなさんは、とっても真剣。

(サマーフェスティバル「ティーワングランプリ」より)

すなまちクロスワード



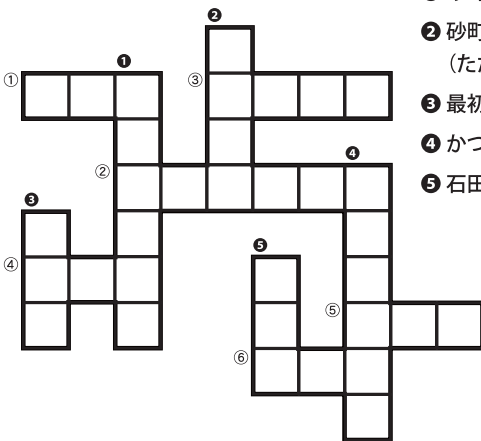
第2回

★こたえはこのページ下です

たて

よこ

- ① 「江東区」には「○○○川の東にある」という意味がある。
- ② 生きている化石。西深川橋のたもとに像がある。
- ③ 翼を持ったネズミと言われる夜行性の動物。
- ④ 砂町ゆかりの俳人石田波郷さんの本名は、石田○○。
- ⑤ 石田波郷さんが愛用していたカメラのひとつ。
- ⑥ 石田波郷さんのトレードマークといえば、○○○とベレー帽。



- ① 砂町文化センター通りの別名。
- ② 砂町文化センターの俳句大会。「○○○○俳句大会」(ただいま作品募集中!)
- ③ 最初にオリンピックが開催されたのはギリシャの○○○。
- ④ かつて砂町で栽培されていた江戸東京野菜。
- ⑤ 石田波郷さんの出身地は○○○県。

Let's Challenge!

砂町や江東区についてのクイズが入っているよ!



地域コラム

砂町をめぐると都営バス



第2回 両28系統 両国駅～葛西橋(東砂6丁目)

砂町をめぐると都営バス、第2回目は両国駅から葛西橋を結ぶ両28系統を紹介します。

両28系統は、第1回の都07系統と同じく、元は都電29系統として千代田区の須田町と葛西橋(現在の旧葛西橋)を結び運行されていました。

昭和47年の都電廃止により草28系統として始発を神田駅に延長し、長らく走り続けましたが、平成12年に神田駅～両国駅間が廃止、短縮され路線名も新たに両28系統となりました。

平成12年は都営地下鉄大江戸線が開業した年で、この開業により地下鉄と並行する都営バス路線はバッサリと切り捨てられ、多くの路線の見直しがされました。大深度の地下鉄よりも、東京の街並みを眺めて移動できるバスのほうが、人にやさしい交通機関とも言えるのですが...

話題を両28系統に戻しましょう。

都電代替路線である本路線は運行時間が他

の系統より長い(朝早くから夜遅くまで運行される)のが特徴です。

23時以降に1本だけ運転される最終バスは両国駅からではなく錦糸町駅から発車し、葛西橋を超えて江戸川区の第6葛西小学校前まで運行されます。この不思議な運転区間は第1回の都07系統の最終バスが過去に第6葛西小学校のすぐ近くにある江戸川車庫まで運転していたものを肩代わりしているためです。

なお、8月17日月曜日(日)から葛西橋が工事に入ったため、当分のあいだ、葛西橋行きは運転されず、東砂6丁目を終点とする事になりました。(2年間の予定)

見慣れない行先のバスが走りますが、北砂2丁目をはじめ砂町文化センター最寄りのバス停には今まで通り停車しますので、安心してご利用ください。



8月16日を最後に見られなくなった葛西橋行き



すなまちクロスワード こたえ

- 【よこ】① すみだ ② しーらんす ③ こうもり ④ てつお ⑤ らいか ⑥ めがね
 【たて】① だいしどおり ② はこべら ③ あてね ④ すなむらねぎ ⑤ えひめ